

CONTENTS

- 特集1.....2
- 特集2.....4
- わたしたちのクラブ活動紹介します!!...6
- 教職員紹介.....8
- ゼミに直撃!.....9
- 大学にプラス!.....10
- 地域にプラス!.....12
- 就職活動最前線.....14
- 若桐会Letter.....15
- 学園100周年プロジェクト.....16

特集1

学生が行く 新座・志木サイクリングツアー

特集2

十文字メモリアルスポット

～大学の中で気になるスポットを探してみた



学園100周年プロジェクト

十文字学園創立100周年!



～十文字学園創立100周年記念募金～

十文字学園に向けたご高配とご支援を賜りたくお願い申し上げます。詳しい内容は本学ホームページ「100周年サイト」でご覧いただけます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。



～十文字学園創立100周年記念講演～

講演テーマ：多様な個性が輝く新時代へ

講演者：植木 朝子氏 (同志社大学 学長)

日時：2022年5月21日(土) 14時～15時30分(予定)

開催方法：対面およびオンライン併用

参加費：無料

会場：十文字学園女子大学 記念ホール

会場定員：500名程度

(定員に達し次第、オンライン参加のみの受付となります)

申し込みについて：4月1日申し込み開始予定

〈十文字学園100周年サイト〉

<https://gakuen.jumonji-u.ac.jp/100th/archive/1718/>



問い合わせ先：十文字学園100周年プロジェクト事務局

TEL：048-423-3749 (直通)

Email：100th@jumonji-u.ac.jp

新型コロナウイルス感染拡大状況により、開催方法を変更する可能性があります。場合によっては、オンライン開催のみとなります。詳細は十文字学園100周年サイトをご確認ください。



植木 朝子 (うえき ともこ) 氏プロフィール：1995年お茶の水女子大学大学院博士課程単位取得退学後、1996年十文字学園女子短期大学専任講師、2001年同短期大学助教授、2003年同大学助教授を経て、2005年同志社大学文学部助教授、2007年同大学教授。2020年同志社大学第34代学長に就任。専門は中世歌謡・芸能。博士(人文科学)。

お知らせ

次号のJumonji Press No.53は、スマートフォンやタブレットを利用して読むことができるウェブマガジンとして発刊を予定しています。デジタルならではの動画や音声を活用することで、十文字学園女子大学の魅力をさらに発信してまいります。ぜひご期待ください!

<https://www.jumonji-u.ac.jp/outline/press/nizadayori/>

Jumonji Press No.52
2022年3月22日発行

発行：十文字学園女子大学
〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28
TEL 048-477-0555 (代表)

編集：十文字学園女子大学 広報部
編集指導：石野 榮一 (文芸文化学科教授)

取材協力：ライターデザイン部 植村 萌絵、富樫 奈々、中西 麻樹、佐藤 かのん、日比 千晴

制作協力：ケイ・アイ・エス 有限会社

表紙の写真

武蔵野会 (保護者会) から寄贈された「個人キャレリ」
十文字学園創立100周年を記念して、2021年12月に武蔵野会から大学図書館に寄贈された「個人キャレリ」(個人閲覧室・自習用机)です。図書館3階の一角に設置され、「落ち着いて勉強ができる」と学生たちに好評です。

※新型コロナウイルス感染防止対策(検温・マスク着用・手洗い)を実施・徹底した上で取材・写真撮影を行っています。また、撮影のために一瞬マスクを外した写真を掲載しております。

編集後記
第52号のJumonji Pressは、ライターデザイン部の部員による新座・志木の自転車ツアーを特集しました。シェアサイクルを使って大学から行ける範囲を巡るツアーを夏・秋の2回に分けて実施し、大学近隣の気になるスポットを紹介しています。また、大学構内にも印象的なスポットが色んな箇所に存在しています。特集2で紹介していますので、新入生の方はぜひ足を運んでみてください。取材などにご協力くださった方々に心から御礼申し上げます。
ライターデザイン部部長 植村 萌絵
最後まで読んでいただきありがとうございます。本学や新座市周辺についてまだまだ知らないことが多いと思います。私たちの活動が皆さんの好奇心をかき立てる一助になればうれしいです。今後も情報発信を続けていきたいと思っています。



普光明寺
 大同元(806)年の開山と伝えられる真言宗の古いお寺です。本堂はどしりと風格のあるたずまい。また、欄間の透かし彫りなどの彫刻が施された山門は、江戸時代の『新編武蔵風土記稿』にもその造りの見事さが紹介されていて、一見の価値があります!



野火止用水
 自然に囲まれ、風の中を気持ちよく自転車で駆け抜けることができます。リフレッシュしたい時や気分転換などに訪れてみてはいかがでしょうか。大学からも近く、散歩にも良いかもしれません。



柳瀬川
 柳瀬川沿いは堤防の上を歩くことができ、開放感に溢れています。堤防下で遊んでいる子どもたちや鳥の鳴き声にどこか懐かしさを感じられます。街なかでは見られない、新座ならではの風景を一度体感してみてください。

志木市

新河岸川・柳瀬川・荒川の3本の川が市内を流れる志木市は江戸時代から水運で栄え、商業地として発展。川沿いには自然や田園風景も多く残されています。



新座・志木サイクリングツアー

大学に入学して初めて新座に来た人も多いと思います。「駅と大学の通学路しか知らない4年間もったいない」と私たちライターデザイン部はレンタル自転車で大学周辺を散策してみました。授業の合間に気分転換を兼ねてちょっと出かけてみませんか?きっと何かが見つかるはず。



新座の民話 野火止塚と姫伝説

平林寺の境内林にある野火止塚には伝説があります。平安の昔、歌人・在原業平と地元の豪族の娘・青前姫が恋仲となって駆け落ちし、草陰に息をひそめていると、追手が野原に火をつけました。身の危険を感じた姫が「どうか野原を焼かないで。彼と私が隠れているから」という歌を詠んだところ、火は野火止塚付近でたちどころに消えたとか。野火止の名はこの伝説が由来ともいわれています。



ロッカー型の新座産野菜販売所の購入したウモロコシは新鮮で甘くておいしかったです(おまけに安い)人通りのある大きな道路に設置してあるので、地域交流の場としてはとても良いのではないかと思います。



新座市

埼玉県の最南端、首都近郊にありながら豊かな自然に恵まれ、武蔵野の面影を色濃く残す新座市。名所・旧跡など観光スポットも市内各所に点在しています。



大学正門前のローソンや新座駅前前でレンタサイクルを手軽に利用できます。スマホ登録で好きな時間帯に利用可能です。返却も都合の良い場所で行えます。



雑木林の急斜面から湧き出ている清流で、環境省の「平成の名水百選」にも選ばれています。希少な山野草が自生する雑木林内には木道も整備されていて、自然と触れ合いながら散策を楽しむことができます。

志木のカッパ伝説

昔、柳瀬川には人や馬に悪さばかりするカッパが住んでいました。あるとき、馬を川に引き入れようとしていたカッパを村人たちが見つけて捕え、火あぶりにしようとした。その騒ぎを聞いてやってきた宝幢寺の和尚さんは、命乞いをするカッパを哀れに思い、村人たちを説得して「もう二度と人や馬を襲ってはいけないよ」とカッパを諭して逃がしてやりました。すると翌朝、カッパからのお礼なのか、和尚さんの枕元にフナが2匹置いてあり、以来、柳瀬川で人や馬が襲われることも一切なくなりました。これが宝幢寺に今も伝わるカッパ伝説です。



旧村山快哉堂
 明治10(1877)年に建てられた木造2階建ての薬店の店蔵。元々は現在の志木市本町3丁目にありましたが、平成13(2001)年には親水公園中洲ゾーン(村山快哉堂ひろば)に移築復元されました。志木市指定文化財。(現在整備中、8月以降開館予定)



ミニ富士山がある敷島神社
 「田子山富士」と呼ばれる富士山は登ることができます。結構急な斜面なのでリアルかも!!
 登頂して見える風景に感動と達成感を味わえます!

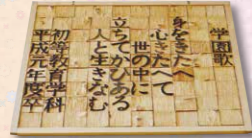


ひるねの森
 平林寺のすぐ近く。そば・うどん・アイスの販売などもあり、休憩スポットに抜群です。店内には座敷や机・椅子があり、外にはテラス席もあります。とても入りやすく、価格もお手頃。平林寺に行った際は寄ってみたい場所です。

資料協力:新座市シティプロモーション課
 ※この記事の取材は、新座市をはじめとした近隣4市で実証実験中のシェアサイクルを使用しています。

Library

図書館に行ったら探してみよう!



卒業生の寄贈品
だそうです

金色のレリーフ (図書館)

2020年にリニューアルした図書館は、豊富な蔵書と充実した閲覧環境を備え、1階には「プラスフォーラム」「プラススクエア」といった多目的スペースも。入口真上には学園歌が刻まれたレリーフが、また2階に上がる階段横の壁にはさまざまな模様の金色のレリーフが飾られています。

Memorial hall

Check Point!



かきつばた 燕子花の屏風絵 (記念ホール)

式典やイベントが行われる大型ホールです。2階入口には荘厳な屏風絵が飾られています。2003年の記念ホールの完成時より展示されています。濃淡の群青と緑青で描かれた燕子花の姿が印象的です。

Food culture practice room



新しい食文化演習室 (4号棟)

土井善晴先生の授業もここで行われます。廊下からガラス越しに授業の様子がみられるかも?

大きなクリスマスツリー (7号館)

キャンパスのほぼ中心に位置する、大学で一番背の高い校舎です。クリスマスの時期になるとエントランスにツリーが登場。12月上旬には点灯式が行われ、学友会のスタッフや大学マスコットキャラクターのプラスチックちゃんが盛り上げます。

クリスマスの時期が楽しみだね



Building no.7

とっても大きいツリーだよ!

グランドピアノ (8号館)

コンピュータ演習室やCALL教室などさまざまな教室がある校舎です。校舎の外には創立者 十字こと先生の銅像が。また1階奥には立派なグランドピアノが置かれ、きれいな音色を奏でます。



グラウンドの芝生に映えていい感じ

Building no.8



Jumonji Memorial spot

実は大学キャンパスにもちょっと気になる・印象に残るスポットがひっそりと存在します。今回は、あまり知られていないメモリアルスポットに焦点を当ててご紹介します。

十文字メモリアルスポット

~大学の中で気になるスポットを探してみた

十文字の桜

十文字学園女子大学の桜は、毎年キャンパス内の各所で美しく咲き誇り、4月には新入生を華やかに迎えます。コロナ禍以前は近隣住民の方々にもキャンパスが開放され、人気のお花見スポットになっていました。満開時はキャンパスが一面桜色に包まれます。



秋になると黄金色の銀杏もきれいです!



Building no.1

穴から何が
見えるかな?



プラスも探してみるプラ!

Cherry Blossoms



春になったら行ってみよう!

十文字ののぞき穴 (1号棟)

キャンパス内で最も古いレンガ造りの校舎。伝統と歴史を感じさせる重厚なたたずまいです。2階に上る外階段の踊り場で謎の十字の穴を発見! 学園のシンボルマークを意識して作られたのでしょうか?



新入生の皆さん、チェックしてみね!

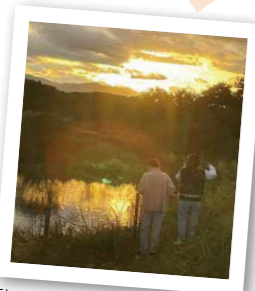


昭和50年当時の1号棟



ステイホームをテーマに SNSで情報発信—— 広告研究同好会

部長
 文芸文化学科 3年
 土屋 璃奈



動画制作プロジェクトの一環で東松山市での撮影に参加



広告研究同好会は、文芸文化学科の有志2人で2020年1月に立ち上げました。当初の活動目的は「身近な地域や旅先の魅力を校内新聞やSNSの記事にし、発信すること。」「自分たちがいつも見ている景色の中にも、実は素敵な場所が隠れている」ことを伝えたくて始めました。メンバーを集め、5月に同好会が正式に承認されましたが、新型コロナウイルスの蔓延により思うような活動が難しくなっていました。

学外での活動をしたかったのですが、この状況では活動できないとあきらめかけていました。でも、7月に私ともう1人のメンバーがTJUP「地域の魅力発信動画制作プロジェクト」*に参加したことがきっかけとなり、コロナ禍でもオンラインでのミーティングや、SNSをメインに活用する方法で活動できるのではと希望が見えました。

メンバーと話し合いを重ね、今年度のメインの活動を、学外の情報発信から「おうち時間の過ごし方」を提案するインスタグラムの

- 活動日 週3回（メンバーの時間割に合わせて）
- 活動場所 Zoom、742教室
- 活動内容 Instagramの更新
コンテストやコンクールへの出品
- 部員数 10名



アカウントの運営に変更。活動形態をできる限りZoomにし、新しい同好会の形を作りました。

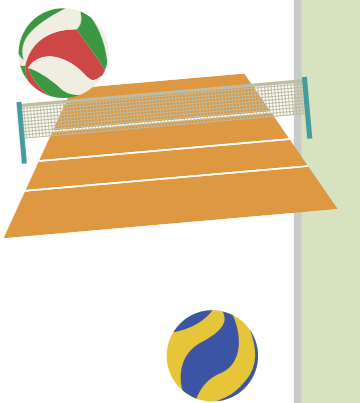
インスタグラムの投稿は毎週日曜日に行い、その内容について週に2回ミーティングをしています。

ミーティングは雑談が多く、そこから自分たちが楽しそうだと感じたものをピックアップして、企画を考えます。週に1度の対面の活動日には、アナログな作業の準備のほか、各種コンクールに応募する作品の制作も行っています。絵本や紙芝居などのユニークなコンクールを見つけて応募しています。

*12頁参照

一人ひとりの個性を生かし 勝利を目指す—— バレーボール部

部長
 児童教育学科 1年
 土橋 明歩



小・中・高とずっと続けてきたバレーボールを大学でも続けたいと考え、入学してすぐクラブ体験に参加。楽しそうにバレーボールをしている先輩方の姿を見て、一緒にプレーをしたいと思い入部を決めました。バレーボールが好きという強い気持ちがあるところからありますが、クラブ活動を始めてからは大学生活がとても充実しています。

入部後はバレーボールを通して他学科の先輩や同級生と知り合うことができ、人とのつながりも増えました。部員数が多いので、いろいろなメンバーとゲーム形式で練習しながら切磋琢磨できるところも気に入っています。素敵なメンバーに恵まれていること、個性豊かな仲間と互いに高め合いながら打ち込める環境があることに感謝しながらプレーしています。これから一人ひとりの個性を生かし、明るく、元気に、メリハリのあるチームを作っていきたいです。そして、バレーボールを通して人とのつながりを大切に、試合で勝つために一致団結して頑張っていきます。

- 活動日 水曜16:30~19:30
土曜10:00~12:00
- 活動場所 メインアリーナ
- 活動内容 基礎からゲームまで幅広い練習を行っています。
- 部員数 35名



クラブの練習風景

先日行われた大会では7部優勝を果たし、現在は6部優勝を目指して練習しています。今までと同じバレーボールでは勝てないと思うので、攻撃パターンを増やし、よりレベルの高いプレーを追求していきたいです。

社会情報デザイン学部社会情報デザイン学科

鳥越信吾 専任講師

教職員紹介

学生時代は人間形成に大きな影響を持つ年代。親や兄弟、友人はもちろん、普段の学びの中で教職員から受ける影響は少なくないはず。そんな私たちの成長を支える本学の教職員を紹介していきます。今回は社会情報デザイン学部社会情報デザイン学科で社会学を専門にしている鳥越信吾先生です。

社会学は文字通り、社会のさまざまな事象を扱う守備範囲が広い学問分野で、その中でも「時間」について研究しています。時間は社会生活と切っても切り離せないものですが、時計では測れない「時間」もたくさんあり、それが主な研究対象です。

社会情報デザイン学科の魅力は、文系・理系を問わずいろいろな教員がいる点です。社会学の分野には、僕のように文献をもとに検討していく文系寄りの研究者もいれば、統計的なデータを駆使する理系寄りの研究者もいる。文学部出身の僕はこれまで理系の方とはあまり接点がなかったのですが、情報系など理系出身の先生とお話しできるのはとても面白いです。発想が全然違うというか。

また、教育面で特に心がけているのは「距離感」。離れすぎると十分な指導ができず、逆に近すぎると学生の自主性がうまく育ちにくい。適切な距離を取りながら、いかに学生のやる気と能力を引き出すかが難しいですね。

素直な学生が多いので、教えるのが楽しいです



あと、学生が良い子で素直すぎるので、逆にもう少し反抗する強い心があってもいいのかな、って。蛇足かな(笑)
(ライターデザイン部 佐藤かのん、日比千晴)

十文字の良さは、何よりもまず学生にあると思います。素直で真面目なので教えやすく、成長する過程がよく見えてとにかく教員冥利に尽きます。ただ、言われたことを全部やるうとしてキャパオーバーになってしまいう学生もいるので、適切な量の課題を指示することは意識しています。

ゼミに直撃！ Vol.17

石川敬史 敬史ゼミ

教育人文学部文芸文化学科

7回目の訪問先は教育人文学部文芸文化学科の石川敬史ゼミです。移動図書館研究の第一人者である石川先生。研究室にある移動図書館車の模型を大切そうに扱う姿とは裏腹に大のお話好き、ロングインタビューになりました。紙面の都合で一部しか掲載できないのが残念です。
(ライターデザイン部 植村萌絵、日比千晴)

専門分野を教えてください。

石川 図書館学が専門で、大学では主に司書課程の授業を担当しています。とりわけ日本の近現代における公共図書館の歴史を研究していますが、その中でも一番長く時間を費やしているのが移動図書館の研究です。その歴史調査とともに、全国各地の移動図書館の現場を歩いています。

普段のゼミではどんな活動をしていますか。

石川 石川ゼミでは、各地の図書館見学の他に、企業とも連携して本や図書館に関わるプロジェクトに取り組んでいます。過去には読書手帳、手話つき図書館ガイドブック、オリジナルブックトラックなどを制作・開発しました。こうしたゼミ活動の場では、学生がそれぞれの価値観や個性を互いに尊重しながら正解のない問

いに対して議論し合い、考え、自らの言葉で表現することが求められます。その中でさらなる問題を発見し、再び正解のない問いに立ち向かい、「わからない」で終わるのではなく、能動的に自分の言葉で伝えたい内容を再構成していくことも大切だと思います。プロジェクトを進める中で、企業側も、そして私も学生から大いに学んでいます。



石川 敬史 准教授

専門：図書館学
経歴：近現代日本の図書館史や移動図書館の研究に従事。埼玉県子供読書活動推進会議委員長、さいたま市、新座市、和光市等の図書館協議会委員。日本図書館研究会理事、日本図書館文化史研究会運営委員。著書に「文化の朝は移動図書館ひかりから：千葉県立中央図書館ひかり号研究」(共著)など。

方や考えを持つ学生を育てたいですね。

卒業研究の指導で大事にされていることは。

石川 卒研は4年間の学びの集大成です。先行研究や関連文献を読み込み、調査結果をまとめることも大事ですが、それらを通して何が明らかになったのか、自分自身はどう考えるかなどを、のびのびと、かつ論理的に書くように指導しています。そのためには現場と大学とを往復することが大事だと伝えていきます。私も自身も研究するにあたり、文献や資料を読み込みますが、やはり現場や現地に行かないと見えてこないものがあります。頭の中で考えるだけでなく、現場に足を運び、見たり触ったり、関係者の話を聞いたりする中から「次」への道が拓かれてくることが多いと実感しています。ゼミ生にもこうした洞察力が大切さだと感じる場を経験してほしいと考えています。

総務部
村上千帆さん・源間葉月さん
サッカー女子フットリーグWEリーグに参戦する「大宮アルディージャ VENTUS」の中心選手であり、本学総務課に勤務する村上真帆さん、源間葉月さんにお話を伺いました。

教職員紹介

2人とも十文字学園の高校・大学のサッカー部で活躍し、2021年4月から本学に勤務。社会人とサッカー選手を両立しています。「日本を背負っています。日本を背負っています」

周囲の方に感謝です!

サッカーも仕事も全力!



源間 葉月さん
十文字高校
十文字学園女子大卒

村上 真帆さん
十文字高校
早稲田大卒

た方々と一緒にプレーするので選手としての質が問われます。仕事も同じくらい大事。午前中に練習、午後から仕事と頭の切り替えは大変ですが、2つのことを同時にやらせてもらえるのはありがたい環境だと思っています」と村上さん。源間さんは「悩みや課題はありますが、好きなサッカーを社会人として経験させてもらい、本当にやりがいを感じています」と話します。

今後の目標について、村上さんは「まず試合に出てチームの勝利に貢献すること。チーム内では若手なのでとにかく先輩たちから学ぶ。まだ理解できていない部分も多いし、プレーに表せないこともあるので、そこはもう練習あるのみです」。源間さんは「チームに必要とされる選手であり続け、強いチームになれるよう貢献したい。サッカー以外の面でも、サポーターや地域の方々との触れ合いを大事にしていきたいと思っています」。

仕事とサッカーの両立は並大抵の苦労ではないと思いますが、2人からはサッカーへの情熱と、周囲や職場環境への感謝の気持ちがひしひしと伝わってきました。(ライターデザイン部 中西麻樹)



最後に十文字生へのメッセージをお願いします。

石川 自らが舞台上に立てない時、他者に手を差し伸べたり、舞台全体を見渡してみることも大切。時流に乗るのではなく、背後にある物語や地下水の色をしっかり見つめていくことを意識してみてください。

十文字 TOPICS

6月
ダンス動画の
制作に参加



和光市制50周年記念歌「ひかりさすまち」ダンス動画の制作に参加

健康栄養学科とプラスちゃんくらぶの学生が、和光市制50周年記念歌「ひかりさすまち」ダンス動画の制作に参加しました。この取り組みは、本学と和光市との包括連携協定の連携事業の一環として、健康栄養学科の飯田路佳教授が中心となり、同学科の学生とプラスちゃんくらぶ（指導教員：文芸文化学科 星野祐子准教授）の学生が動画を制作、応募したものです。応募された作品は1本の動画として編集され、和光市ホームページ、和光市公式 YouTube「和光市チャンネル」で公開されています。

6月～7月
ヒトハコ
図書館を展示



図書館1階に「ヒトハコ図書館」を展示

図書館1階の+Square（プラススクエア）で「ヒトハコ図書館」が2021年7月17日まで展示されました。「ヒトハコ図書館」は、30cm角のボックスの中に書籍と手書きのPOPなどを展示し、書籍を紹介するための展示です。この取り組みは、学生がテーマに沿って展示方法を考え、工夫を凝らした書籍空間づくりを学ぶことを目的に行われています。学生一人ひとりが館長となり、40個近くの「ヒトハコ図書館」を制作。文芸文化学科「書籍空間論」の成果です。

1/21
トラベル
ライティング
アワード



トラベルライティングアワード2021最優秀賞を受賞

新座市産業観光協会が主催する「トラベルライティングアワード2021」において、文芸文化学科3年 谷直子さんの作品「おすすめ」が最優秀賞に選ばれました。入選にあたる新座賞には同学科3年の西田彩花さん、2年の青木美美さん、今愛里香さんの3名の作品が選ばれました。同アワードは、市内3大学（十文字学園女子大学、跡見学園女子大学、立教大学）に通う学生が新座市の魅力を掘り起こすことで、市民の新たな気づきにつなげていくことを目的に、毎年旅エッセイを募集しています。2021年度は400を超える作品の応募があり、審査の結果、最優秀賞、優秀賞、新座賞が選ばれました。谷さんの作品には「コロナ禍にともなうマスク生活のうっとうしさを振り払ってくれる景色の美しさへの感動がみずみずしく伝わってくる」「とても素直で真つすぐな思いが溢れている作品」といった講評がされました。

コロナ禍のため授賞式は行われず、受賞者には各大学を通じて賞状と副賞が贈られました。

11月～12月
学食メニュー
コンテスト

プラスごはんプロジェクト第3弾 学食メニューコンテストを実施

大学の食環境の向上を目的に立ち上がった「プラスごはんプロジェクト」の一環として「学食メニューコンテスト」が開催されました。学生食堂のメニューを学生・教職員より広く募集し、選ばれたメニューが学食で販売されるという取り組みです。2021年7月～8月の期間に20点の応募が寄せられ、以下のメニューが選ばれ学生食堂で販売されました。



健康栄養学科3年 飯田 咲希さん



食物栄養学科3年 山口 未優さん

11月25日(木)
ほくほくサツマイモご飯と
イワシの竜田揚げ
サクッとジューシーなイワシの竜田揚げと、季節を感じるさつまいもご飯ときのご汁の定食です。
●656 Kcal
●410円



12月8日(水)
かぼちゃクリームペンネランチ
カボチャをたっぷり使用した優しい甘さのソースのペンネです。副菜はシンプルな味付けのツナサラダにしました。
●656 Kcal
●410円



健康栄養学科3年 内藤 茉那さん



健康栄養学科2年 牛込 ゆり乃さん
小原 彩加さん

12月10日(金)
カオマンガイ定食
ネギソースのピリ辛がよく合うカオマンガイに、秋の食材の香り高いきのこチンゲン菜を合わせました。
●631 Kcal
●410円



12月15日(水)
油淋鶏唐揚げ定食
パリッとした食感が美味しい油淋鶏唐揚げです。椎茸とチンゲン菜の卵スープも素材を感じる優しい味です。
●794 Kcal
●410円



10/23,24
第55回
桐華祭



第55回桐華祭Go to 十文字～心を密に新時代を楽しむ～

第55回桐華祭は、2021年10月23日(土)・24日(日)の2日間にわたりオンラインで開催されました。テーマは「Go to 十文字～心を密に新時代を楽しむ～」。新型コロナウイルスの影響でこれまでの日常から大きく変りましたが、「心と心は密に」みなさまと共につながっていける桐華祭にしていきたいという思いが込められています。

Musical Club
～Bloom～



ダンス部



桐華祭特設サイトに、各クラブや参加団体の発表内容が掲載されたほか、ステージ発表やZoomを使用した参加型企画など、学内生向けイベントが行われました。

メインイベントのトークショー（出演：山田 裕貴）&お笑いライブ（出演：相席スタート、ぼる塾）は、ハイブリッド方式として、記念ホールでの開催とオンライン配信を同時に行いました。



本学学生が埼玉県主催コンサートのライブ配信を担当

9/11
ライブ配信を
担当

2021年9月11日(土)、埼玉県主催で開催された「下総皖一(しもおさかんいち)音楽賞受賞者コンサート2021～埼玉から響く音楽のエール～」のライブ配信を、本学の自主ゼミ「MCLIP(エムクリップ。メディアコミュニケーション学科と社会情報デザイン学科の学生で構成)が担当しました。コンサートは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するために会場の客席数を50%以下に減らし、来場しない方にも自宅等でコンサートを楽しんでいただけるよう、オンライン配信も行いました。

オンライン配信については埼玉県文化振興課から協力の申し出があり、MCLIPの学生が初挑戦しました。

11/30、
12/7
大根を配布



学内の農園で収穫した大根を無料配布

2021年3月から、食品開発学科の学生と教員と一緒に大学内の土地を耕し、「十文字畑」の畑づくりを行ってきました。「食農体験」の授業として、みんなで耕した十文字畑に大根を植えて育て、収穫した大根を正門前で配布しました。当日は列ができるほど盛況で、学生たちは2カ月半かけて育ててきた大きな大根を多くの学生や教職員に大切に手渡しました。



5月～7月
ラジオ番組を
担当



ゼミでラジオ番組を担当

メディアコミュニケーション学科石野榮一ゼミの学生が、朝霞、和光、新座、志木市を主な受信エリアとするラジオ局「775(ナナコ) ライブFM」の番組を担当し、出演しました。地域メディアをより実践的に学ぶことを目的として2021年5月から7月までの計8回、「プラスキャンパス」という番組で地域の問題を届けました。

産学連携

十文字学園女子大学×西武ライオンズ 「コロナに負けるな!学生応援プロジェクト」を実施



プラスちゃん
とライナも応援
駆けつけました

©SEIBU Lions / TEZUKA PRODUCTIONS



レットルトご
はん・カレーと生
理用品をセット
にして配布



600セットを袋
詰めしました

昨年11月、西武ライオンズから、長引くコロナ禍で経済的影響を受けている学生に向けた支援の申し入れがあり、生活物資を無料で配布する「コロナに負けるな!学生応援プロジェクト」が発足しました。

本学と西武ライオンズは2016年に「連携協力に関する基本協定」を締結し、球団イベントへの学生ボランティアの参加やポスターの作成、親子野球体験イベントの実施など、双方の資源を生かした地域連携活動の展開を通じて交流を深めてきました。このような交流の経緯が今回のプロジェクトに繋がっています。

1月6日(木)、西武ライオンズから提供された600人分のレットルトカレーとご飯、生理用品などを有志の学生が袋詰めしました。配布は、コロナ禍による隔週登校を考慮して12日(水)と19日

(水)の2日を設定。寒い中、そろいのピンクの法被を着た学生が、呼び込みや列の誘導、物品の配布を元気に行いました。

12日には、埼玉西武ライオンズの公式マスコット「ライナ」と本学マスコットキャラクター「プラスちゃん」が参加し会場を盛り上げ、2日間で合計600人の学生に応援の気持ちをお届けすることができました。

受け取った学生からは「アルバイトが減ってしまったので助かる」「たくさん入っていて驚いた、うれしい!」という声が、配布をした学生からは「初めてこのような活動に参加した。またぜひやりたい!」「手渡したら『ありがとう』と言われ自分からも『来てくれてありがとう』と伝え、楽しかったなどの声も聞かれ、久しぶりの対面での活動に、マスク越しに笑顔があふれていました。

本学と株式会社西武ライオンズは、1月12日と19日、記念ホールピロティにて、「コロナに負けるな!学生応援プロジェクト」を実施。西武ライオンズより無償で提供された食料品などの生活物資を、90人の学生有志が中心となって学生たちへ配布しました。

大学間連携

埼玉東上地域大学教育 プラットフォーム (TJUP)



古明地 (こめいじ) 先生によるミニ講座



スマートフォンを
使っておすすめ
スポットを撮影

【その他の活動】単位互換/共同FD・SD「チームビルディングの理論を学ぶ(入門編)~チームをつくるコミュニケーション~」「大学における情報教育を考える~数理・データサイエンス・AI教育プログラムについて~」「効果的なりも授業の研究」「大学学生生活の諸々の活動と著作権法の関係を検討する」「ICTを活用した遠隔事業の実践」/共同IR活動「IR養成講座」/ブランドデザイン検討会/科目研究ワークショップ/合同オンライン入試説明会/業界セミナー

加盟大学を「教育連携委員会」「地域交流委員会」「学生イベント交流委員会」「キャリア支援委員会」の4つに振り分け、TJUP活動指標に基づいた活動を行っています(本学は「地域交流委員会」に所属)。

◆2021年度地域交流委員会の活動
公開講座

- ・オンライン講座「SDGsを知ろう!!!」(8月28日(土))
- ・オンライン講座「毎日楽しく介護予防く筋トレ・ロトレ・脳トレのススメ」(9月25日(土))

食物栄養学科の古明地夕佳准教授が登壇し、管理栄養士の立場から「低栄養予防の食事について」の講座を、文京学院大学の太橋幸子教授が作業療法士・言語聴覚士の立場から健康チェックと体操を行いました。

・対面講座「はじめてのフルト体験」(10月30日(土))

【FD・SD】

- ・共同FD・SD「地域と共に歩むTJUP」~「農」を通じて人をつなぎ地域をつくる~(9月14日(火))
- 【学生参加イベント】
- ・東松山市観光遊歩道「まなびのみち」フリーウォーク(11月23日(火・祝))
- ・地域の魅力発信動画制作プロジェクト(7~12月)

会員校の学生が「地域の魅力発信」をテーマに会員自治体(2021年度は東松山市)の紹介動画を制作しました。観光や産業、グルメ情報などを学生たちが現地取材。文芸文化学科3年生の2人が参加し、12月8日の活動報告会で市の職員を前に発表しました(現在、東松山市のホームページで公開中)。

本学は「TJUP」に加盟し、県内20大学・短期大学、19自治体および企業・団体と連携して、地域の活性化やまちづくりに取り組んでいます。「地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援」というビジョンのもと、他大学と連携しながら実施している活動を紹介しています。

産学官連携



サラダはもちろん、肉・魚料理のソースとしてもお使いいただけます。

■【にんじん畑ドレッシング】
原材料：にんじん(新座市産)、砂糖、玉ねぎ(国産)、醸造酢、食塩、本みりん、しょう油、(一部に小麦・大豆を含む) 200ml、600円(税別)

■【ごぼう畑ドレッシング】
原材料：ごぼう(新座市産)、砂糖、醸造酢、玉ねぎ(国産)、食塩、みりん、味噌、しょう油、かつお節、唐辛子、(一部に小麦・大豆を含む) 200ml、700円(税別)

食品開発学科小林ゼミ開発 「新座産にんじんとごぼうのドレッシング セット」が新座市ふるさと納税返礼品に

食品開発学科小林三智子ゼミが開発した新座市の地場野菜使用の「新座産にんじんとごぼうのドレッシングセット」が、2021年12月から新座市のふるさと納税返礼品(寄附額1万1千円)として登場しました。

本学所在地の新座市は根菜類の栽培に適した土壌で、にんじんやごぼう、さといもなど、多くの野菜が栽培されています。同ゼミでは、2015年よりドレッシングの開発をスタートし、学生たちが収穫から試作、ラベルのデザインまで携わり「地場野菜ドレッシング」を完成させました。

ドレッシングで野菜も摂れるように、をコンセプトに、化学調味料、保存料、着色料、増粘剤などの添加物を一切使用せず、液体を保てるギリギリまで野菜をいれた地場野菜たっぷりのノンオイルドレッシングに仕上げられています。

2016年の「にんじん畑ドレッシング」の販売を皮切りに、2018年「ごぼう畑ドレッシング」、2019年「ブロッコリー畑ドレッシング」、2021年「いちご畑ドレッシング」の販売に至りました。「地産のオリジナルドレッシングで、市の新しいファンを増やしたい」と、新座市からも期待されています。

公開講座

十文字学園100周年記念講座 「料理と器と民藝と」

十文字学園創立100周年を記念して、2つの講座を十文字学園女子大学にて開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンライン形式で、全国の参加者に配信しました。

7月10日(土)
土井善晴のおいしいものセミナー Lesson 2
「料理と器と民藝と」

本学特別招聘教授 土井善晴氏による講座は今回が4回目。「料理と器と民藝と」というテーマに沿って、日本民藝館学芸員の古屋真弓氏をゲストに迎えてのトークや調理の実演、土井氏が口頭使っている道具の紹介など、400人の視聴者に向けて2時間にわたりライブ配信しました。

視聴者の方からは「料理をすることだけでなく、料理を盛る器について重要な役割があることを知りました」といった感想をいただきました。

11月3日(水・祝)
そして映画は作られた!映画の内幕お話しします。

「そして、バトンは渡された」、「老後の資金がありません」の2本の映画の公開に合わせ、映画監督の前田哲氏に、映画制作の内幕や映画に対する思いを話していただきました。

映画のメイキング映像を流しながら、「キャストインが8割」という俳優陣の個性を生かした撮影の様子や監督としてのこだわりなど、「前田ワールド」たっぷりのお話で視聴者を引き込みました。講演後は学生たちとの交流会を実施。イメージ通りのものが撮れるとつまらない。それよりも想定外のもの、超えることに価値がある。はみだしてこそ楽しい」というメッセージを学生たちに贈りました。





前年に続き、コロナ禍の影響を大きく受けた2021年の就職活動。多くの企業が説明会や面接のオンライン化などを進める中、就活生はこの厳しい就職戦線をいかにして乗り切ったのでしょうか。内定した2人の学生に就職活動のポイントなどを聞きました。



井上 実咲さん
食物栄養学科4年
石神井高等学校卒業
●内定先 株式会社 医食同源ドットコム



塚原 彩花さん
文芸文化学科4年
狭山ヶ丘高等学校卒業
●内定先 セコムトラストシステムズ株式会社

Q.就職先を決めた一番の理由は何ですか。

ITがより身近な存在となり、日常生活に欠かせないものになってきています。人々の暮らしを支えるシステムの開発に携わりたいと思い、IT業界を中心に就職活動を行ってきました。その中で、セキュリティに関するシステムの提供には、私たちからは見えていない部分の業務やそれを支える多くの人たちがいることに気づきました。システムを通して、人々や社会の安心・安全を守る仕事に携われることに魅力を感じて、就職を決めました。

企画から開発までを一貫して自社で行っていることや、営業職が開発に携われるなど、部署の垣根を越えてさまざまな仕事を経験できる環境が、自分自身の成長につながると確信しました。また就職活動の際は、「大学で学んできた栄養学を活かして働きたい」ということを軸にしていたため、管理栄養士監修のサプリメントや健康食品を開発しているという点に大変魅力を感じ、入社を決めました。

Q.苦労したこと、工夫して乗り切ったことを教えてください。

説明会や面接は大半がオンライン開催で、会社の雰囲気や肌でつかみにくく感じました。オンラインの場合、画像や音声が届かないなど予期せぬトラブルが起こることもあるので、事前に機器や通信環境なども入念にチェックし、当日安心して参加できるようにしていました。また、対面のときよりも声を大きめに、はっきりと話すよう意識したほか、画面の面接官を見ていると視線が合わなくなってしまうので、なるべくカメラを見るように気をつけました。

最終面接以外はすべてリモートという形がほとんどだったため、選考過程でいかに自分らしさを伝えられるかが難しかったです。リモートに限らず面接はとにかく場数を踏んで慣れていくことで、自然と自分の言いたいことにアレンジを加えながら話すことができるようになりました。また、特に私が意識していたのは笑顔と滑舌です。笑顔は言わずもがなですが、滑舌はリモートの場合、普段よりもハキハキ話さないと聞き返されることが多かった印象です。こちらの環境が静かでも先方は会社の一室でつなげているため、先方の環境なども判断して会話をすることが重要だと思います。

1日の中で、説明会は移動時間を必要としないため多めに、面接は1つの会社に集中するため1社にするなど、スケジュールにメリハリをつけるように心掛けました。

Q.学んだことや、後輩たちにアドバイスやメッセージをお願いします。

就職活動を通して、自分の考えを他人に伝える力が上がったと思います。相手にわかりやすく伝えるにはどうすればよいかということを考えながら話すようになりました。また、自己分析を通して、自分を見つめ直すこと、自分の将来について考えることができました。時には私自身の印象を友人に質問し、周りから見える自分について考えてみることも自己理解に役立ちました。

自分らしさをそのまま出すことが大切です。就職活動を始めた当初はカンペを丸暗記して棒読みで面接に挑んでいましたが、当たり前のように不採用続きでした。そのため途中から嫌気がさしてしまい、どうせ不採用なら…と聞き直って、面白いことが大好きな「素の自分」を出してみたら、驚くくらいに多くの選考が進むようになり、やはり人事担当者も1人の人間なんだと実感しました。そこに気付いてからは、家族構成や性格、高校時代の経験など自身のエピソードを踏まえ、面白い話も織り交ぜながら面接を進め、今の内定先にたどり着きました。自分を飾らず、自分の言葉で話すことが大切だと思いますので、あきらめず頑張ってください。

就職活動は、早めに動き出すこと、目指している会社に向けた努力や勉強をして積極的に行動することが重要です。また、はじめから業界を絞り込まず、視野を広く持って幅広い業界に目を向けてみることも大切です。最後まで粘り強く頑張ってください。



「食の専門家として人の役に立ちたい」

〜管理栄養士の資格を生かし、ワークライフバランスを実現〜

食に関わる企業向けに、レシピ開発や撮影をはじめ、イベント出演や原稿執筆など、多方面に活躍している板垣好恵さん。管理栄養士として、料理を作ることや栄養学をもっと楽しく、身近に感じてもらいたいという思いで活動を続けています。

管理栄養士という資格を持ちながらも、結婚や出産、育児というライフイベントが待っている女性にとって、家庭と仕事の両立は簡単ではありません。

「ワークライフバランスを自分で整えて、仕事だけでなく家族との時間やプライベートも充実させられる働き方をしたい」と思い、大手料理教室を退職後、フリーランスという道を選びました」と板垣さんは話します。

大学時代の同期や料理教室勤務時代の同僚であるフードコーディネーター、カメラマンなどの仲間とともに設立したのが「Food Ring」というユニットでした。

「クライアントからの幅広いニーズに応えられるよう、お互いの得意分野を生かしてチームで仕事ができる

仕組みを作りました。メンバーは全員女性で、家族の転勤があったり、子育てで仕事の時間が限られる人もいれば、逆にバリバリ働きたいという人もいます。専門スキルや働き方も人それぞれです。みんなで高め合いながら、食でたくさんの笑顔の輪を広げたいという思いをユニット名に込めました」

管理栄養士になりたくて、本学に編入学をした板垣さん。勉強は大変だったと笑います。「大学では、栄養学、食品学、調理学など幅広く学ぶことで基礎力をしっかりと身に付けられたことが仕事に役立っています。仕事では、食品メーカーや製薬会社など取引先の業界によって幅広い知識が必要になります。ペースがあるからこそアイデアの引き出しも多く、知識のアップデートもスムーズで、自信を持って仕事できています」



レシピ開発では、食品メーカーの商品を使った販促向けレシピの他、健康・美容に特化したヘルシーレシピ開発も行っています

プライベートでは二児の母。育児を通じて、食育の大切さを痛感しています。「離乳食や子どもの好き嫌いなど、食事の悩みを抱えているお母さんたちの負担をちょっとでも軽くしてあげたいなと、今は食育の情報発信にも力を入れています。企業向けの仕事でも、食の専門家としてクライアントの課題が解決できたときには、お役に立てたことをうれしく感じますね」

管理栄養士の仕事は、常に相手がいるものと板垣さんは強調します。「企業のレシピ開発なら取引先の担当者様やレシピを見るユーザー、栄養指導なら相談相手、献立作成なら食事を食べる人。相手をしっかりイメージして、気持ちに寄り添った仕事をするのが大切です。そのためには学生時代から、勉強だけでなく、アルバイトや旅行、趣味などを通じて人間力を磨いてほしいですね。その上で、自分は何に対してやりがいや楽しさを感じるか、なりたいたい社会人像はどんなイメージかを考えると、目指す道が見えてくるはずですよ」と、在学生に向けてエールを送ってくれました。



いたがき よしえ
板垣 好恵さん

Profile
2007年、他の短期大学を経て、管理栄養士の資格取得を目指して十文字学園女子大学人間生活学部食物栄養学科に3年次編入学。2009年本学卒業後、大手料理教室に6年間勤務。フリーランスとして独立後は、子どもの食育やプレママ〜産後ママ向けの情報発信、レシピ開発、イベント出演、出版などを行っている。また2019年に食の専門家ユニット「FoodRing」を設立し、代表を務めている。管理栄養士、上級食育アドバイザー。公式Instagramアカウント@yoshie.itagaki



将来的には、子育て中のママ向けに料理教室を開くのが夢という板垣さん。現在自宅を建築中で、キッチンも料理教室用に向けてレイアウトしているそうです